

平成22年度第1回埼玉高速鉄道(株)経営懇話会の概要について

1 日 時 平成22年9月10日(金) 14:00~15:20

2 場 所 埼玉教育会館 3階 303会議室

3 概 要

(1) 埼玉高速鉄道株式会社 経営改革プランの策定について

- ・ 埼玉高速鉄道(株)経営懇話会から平成22年1月に県及び沿線3市に提出された報告書を踏まえ、県及び沿線3市が埼玉高速鉄道(株)の経営改革に関する方針について定めた「経営改革プラン」について、県より説明。

・ 主な質疑

Q 支援はどの程度の規模なのか。

A 県・3市あわせて10年間で350億円程度の出資を行うとともに、毎年度、会社の資金繰りの状況を見ながら貸付けを行っていく。

Q 輸送人員の見通しについて、どのように考えているか。

A 厳しい経済情勢の中、10年間という長期の見通しをたてており、懇話会を通じて計画と実績を点検していく。

(2) 埼玉高速鉄道(株)の平成21年度決算及び経営改善計画、第4次中期経営計画の策定について

- ・ 会社より、平成21年度決算状況について、補助金を除いた償却前利益を達成した旨説明。また、経営改革プランを踏まえ策定した10年間の経営改善計画及びその最初の3年間の第4次中期経営計画について説明。

・ 主な質疑

Q 21年度の輸送人員は厳しい状況だったが短期的なものと考えてよいか。

A 景気回復のスピードが気がかりだが、4月に入り、輸送人員は定期・定期外とも伸びており、現時点では短期的な問題ではないかと考えている。

Q 運賃が高いという話をよく聞くが、運賃を下げた場合の利用人数について検討しているのか。

A 以前、埼玉高速鉄道に係る委員会のなかで検討したことがあるが、運賃を下げてもそれに見合うだけの増客は見込めないという結果が出ている。

Q 武蔵野線沿線にイオン浦和美園と同様の大型集客施設ができているがその影響はどうか。

A 従業員の方の利用が多く、大きな影響はないと見ている。イオン浦和美園とは、今年6月、1日乗車券の発売をイオンの広告にも掲載してもらおうなど、連携をしている。